



国民春闘共闘

第30号

2016年6月13日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016年春闘・第5回進ちよく状況調査

回答引出し74.6% ベア2,015円 数次にわたるストライキが増加！

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7日、加盟全単組を対象とした2016年春闘における第5回目の「春闘進ちよく状況」調査を実施し、20単産（3056組合）からの報告をまとめました。

1. 要求提出状況

第5回進ちよく状況調査には別表の20単産（JMITU通信産業本部分は、JMITUに含む）から報告が寄せられ、交渉単位では3056組合での集計となりました。今回あらたに自交総連から報告が寄せられています。

6月7日段階で要求提出が確認できたのは1824組合で、調査組合の59.7%となっています。

要求提出率100%を達成している単産は、合同繊維、検数労連、全倉運、全損保、郵政ユニオンの5単産で、金融労連（93.4%）が9割台、特殊法人労連（88.9%）、化学一般労連（83.3%）、出版労連（80.9%）、民放労連（80.2%）が8割台、JMITU（76.6%）、映演労連（72.7%）が7割台、日本医労連（66.5%）、自交総連（61.5%）、建交労（60.7%）、生協労連（60%）が6割台と続いています。

第4回調査（5月10日現在）から、金融労連（29.5%増）、全印総連（8.3%増）、建設関連労連（8%増）、全倉運（7.5%増）、生協労連（6.9%増）、全農協労連（5.7%増）、福祉保育労（5.1%増）などで要求提出率を伸ばしています。

前年同期（2015年6月5日現在：22単産2165組合・63.8%）と比べ要求提出率は4.1%下回っています。要求提出率が前年同期を上回ったのは建設関連労連、化学一般労連、全倉運、生協労連、特殊法人労連の5単産で、合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオン（いずれも要求提出率100%）と福祉保育労の5単産が前年同率となっています。

2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の福祉保育労を除く）のうち、ストライキ権確立の確認が出来ているのは1243組合・50.3%となり、前年同期（1265組合・49.2%）を1.1%上回っています。

検数労連、全損保、郵政ユニオンが全組合でストライキ権を確立し、これに特殊法人労連（88.9%）、映演労連（81.8%）、合同繊維（80%）、建交労（70.2%）が高率で続いています。日本医労連（20

組合・4.1 ㊦増)、出版労連 (9 組合・10.3 ㊦増)、特殊法人労連 (3 組合・33.3 ㊦増)、映演労連 (2 組合・11.8 ㊦増)、全農協労連 (1 組合・2.1 ㊦増)、合同繊維 (1 組合・20 ㊦増) では前年同期を上回っていますが、全体としては前年並みに止まっています。

3. 回答引出し状況

要求提出した 1243 組合のうち、回答を引き出したのは 1360 組合・74.6%となりました。前回調査 (1097 組合・69.5%) から 263 組合・5.1 ㊦増え、前年同期 (1462 組合・67.5%) を 7.1 ㊦上回っています。

回答引出し率 100%の単産は、検数労連、映演労連、郵政ユニオンの 3 単産で、化学一般労連 (97.3%)、民放労連 (94.1%)、出版労連 (92.1%)、生協労連 (92%)、全印総連 (90%) が 9 割台、日本医労連 (88.2%)、全農協労連 (86.6%)、JMITU (86%)、全倉運 (85%)、全損保 (84.6%)、合同繊維 (80%) が 8 割台で続いています。

5 月 12 日を自主交渉打ち切り日に設定した全損保 (61.5 ㊦増)をはじめ、全農協労連 (39.3 ㊦増)、金融労連 (39.5 ㊦増)、建設関連労連 (28.3 ㊦増)、映演労連 (25 ㊦増) で前回調査時から回答引出し率を大きく伸ばしています。

4. 回答内容

回答内容について見ると、<定昇あり>の職場 (回答 786 組合) では、「定期昇給+ベア」回答を引き出した組合は、回答組合中 28.5%にあたる 224 組合となりました。前回調査 (178 組合・27.9%) から 46 組合・0.6 ㊦増え、前年同期 (237 組合・28.2%) とほぼ同水準となっています。生協労連 (19 組合増)、全農協労連、全印総連 (8 組合増)、建設関連労連、福祉保育労 (4 組合増)、JMITU (2 組合増) では前年同期と比べ「定昇+ベア獲得」組合を増やしています。

「ベアゼロ・定昇のみ」回答は 561 組合・71.4%で、前年同期 (588 組合・69.9%) を 1.5 ㊦上回っています。

福祉保育労の職場では、経営側からベースダウンとなる給与表の改定提案が出されています。

<定昇制度なし>の職場 (回答 411 組合) では、「有額獲得」を引き出したのは 332 組合で、回答組合中 80.8%となっています。前回調査 (285 組合・77.4%) からは 3.4 ㊦上昇しましたが、前年同期 (386 組合・89.4%) を 8.6 ㊦下回っています。

「ゼロ回答」は 79 組合 (回答組合中 19.2%) となっており、前回調査 (83 組合・22.6%) から 4 組合・3.4 ㊦減りました。「賃金引下げ回答」の報告は寄せられていません。

5. 平均賃上げ額・率とベースアップ

回答があった 1360 組合のうち、平均賃上げ額の確認が出来ている 781 組合での単純平均額 (一組合あたりの平均) は、5,126 円となっています。前回調査 (5,039 円) から 87 円増え、前年同期 (5,305 円) を 179 円下回っています。

全農協労連 (+303 円)、建交労 (+238 円)、生協労連 (+272 円)、合同繊維 (+218 円)、建設関連労連 (+41 円) では前年同期比微増となっています。

平均賃上げ率は 480 組合の平均で 2.13%と、前回調査 (2.05%) から 0.08 ㊦上昇し、前年同期を 0.08 ㊦上回っています。全農協労連、合同繊維、民放労連、出版労連、映演労連では 2%以上の引上げ率となっています。

ベースアップ相当分の水準をみると、額掲示のあった196組合での単純平均額は2,015円となっています。前回調査(2,042円)から27円下がりましたが、前年同期1,907円を108円上回っています。

福祉保育労で7組合平均4,072円となっているのをはじめ、出版労連(50組合2,811円)、民放労連(25組合平均2,298円)、全農協労連(15組合平均2,088円)、建設関連労連(5組合平均2,506円)、生協労連(23組合平均2,033円)、映演労連(2組合平均2,000円)など続いています。

6. ストライキ実施状況

調査組合(未集計の単産除く)の8.9%にあたる219組合が、のべ320回(調査組合中12.9%)のストライキを実施しています。

3月17日の全国統一行動日には、日本医労連での94組合をはじめ、建交労、全印総連、JMITU、生協労連などの職場でストライキに決起し、映演労連では「リストラ合理化反対、戦争法廃止、労働法制改悪阻止、映演産業の危機打開のためのストライキ権」を行使し、回答指定日前に指名ストライキを決行しました。

郵政ユニオンは3月23日から24日にかけて全国で23職場86人の仲間がストライキに立ち上がり、映演労連は4月20日に産別統一ストライキに決起し全国12ヵ所で集会を行い、約400人の参加でストライキを大きく成功させています。

JMITUでは、大幅賃上げを求める対経営者のストライキというだけでなく、対政府ストライキと位置づけ、「戦争法廃止、労働法制改悪・消費税増税阻止を求める集会決議」をあげました。

実質賃金改善、生活改善に至らない回答に抗議し、JMITU、化学一般労連、民放労連、映演労連の職場では数次にわたるストライキを敢行しています。

7. 妥結状況

現時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは、要求提出組合の40%にあたる660組合となっています。前回調査(402組合・28%)から258組合・12割増え、前年同期(731組合・33.8%)を6.2割上回っています。

検数労連が全組合で春闘決着をしているのをはじめ化学一般労連(85.3%)、出版労連(82.9%)、合同繊維(80%)、全倉運(77.5%)、生協労連(63.2%)、映演労連(62.5%)など各組合での決着が進んでいます。

**STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化**